



PRESS RELEASE
プレスリリース

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART
豊田市美術館

FEBRUARY
2012

アントワープ王立美術館所蔵

ensor

ジェームズ・アンソール

—写実と幻想の系譜—

2012年4月14日 | 土 | — 6月17日 | 日 |

10:00-17:30 (入場は17:00まで) 休館日 | 月曜日 (4月30日は開館) 豊田市美術館 展示室8

主催 || 豊田市美術館 | NHK名古屋放送局 | NHKプラネット中部 | 中日新聞社

後援 || ベルギー王国大使館

協力 || KLMオランダ航空

一般 || 1,000円 [800円] 高校・大学生 || 800円 [600円] 中学生以下無料

制作協力 || NHKプロモーション

[]内は前売券及び20名以上の団体料金

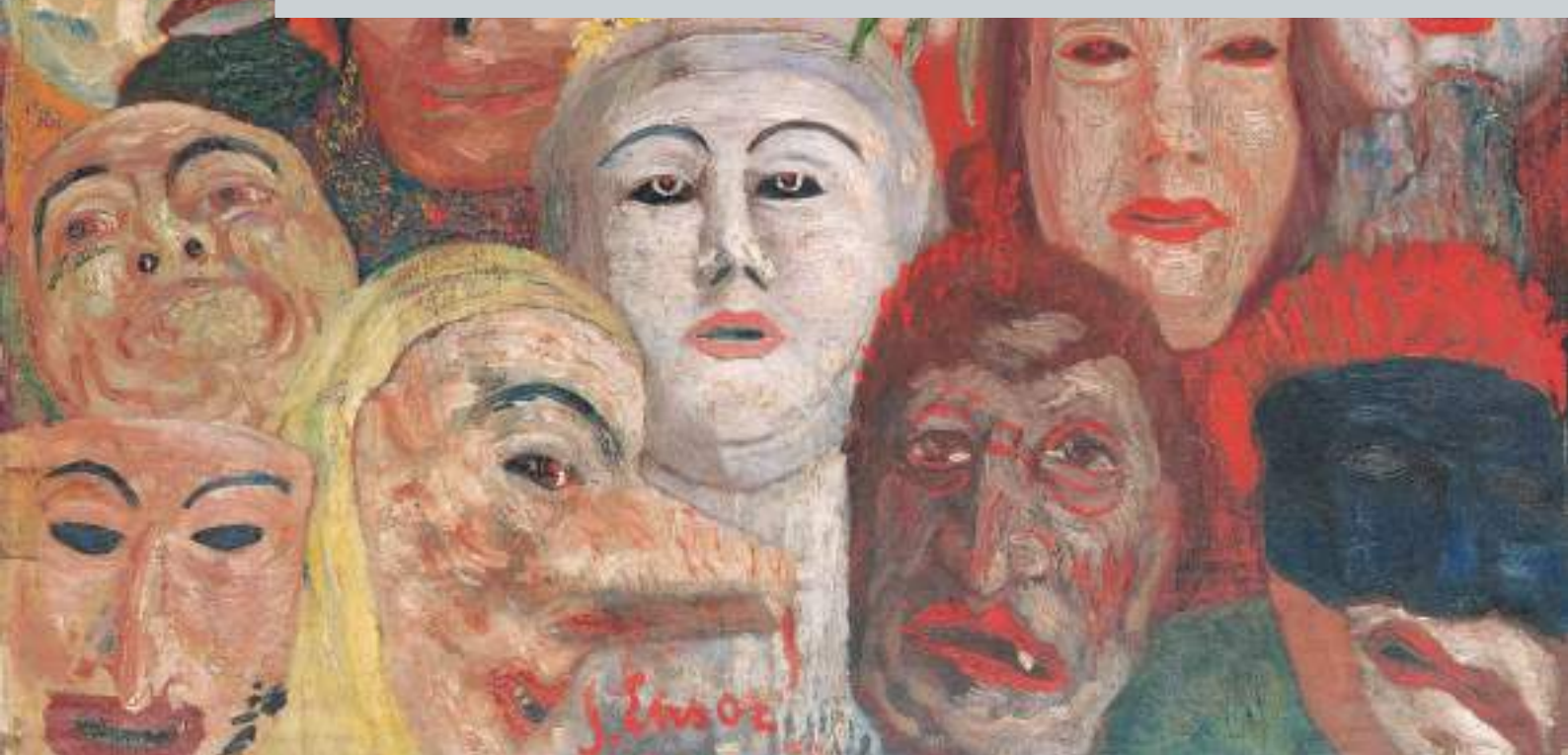
市内高校生, 障がい者及び市内75歳以上は無料 [要証明]

前売券 || 豊田市美術館, チケットぴあ [Pコード || 765-029]

3月14日 | 水 | から4月13日 | 金 | まで発売



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館



ジェームズ・アンソール

—写実と幻想の系譜—

ensor

PRESS RELEASE

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART

展覧会について



本展は、近代ベルギーを代表する画家ジェームズ・アンソールを、フランドルやオランダの過去の作家や、同時代のベルギーの画家たちの作品とあわせて展示することで、ブリューゲルやルーベンスからアンソールへと流れる、写実と幻想の系譜をたどる展覧会です。

アントワープ王立美術館が誇るアンソールの傑作《陰謀》のほか、発表当時サロンで話題となった《牡蠣を食べる女》、宗教画の代表作《悲しみの人》など、約50点のアンソール作品を紹介します。また、アンソールに影響を与えたブリューゲルやルーベンスらフランドルの画家や、ベルギーのリアリズムから印象派までの同時代の画家たち、そしてクールベやファンタン＝ラトゥールなどフランスの画家の作品もあわせて展示し、100余点でアンソールの芸術を生み出した背景を探ります。アンソールは、優れたコレクションとして国内外から高く評価されている豊田市美術館の西洋美術コレクションの端緒でもあります。本展はアンソールを、肥沃なるヨーロッパ絵画史の伝統とともに紹介するまたとない機会となります。アンソールが社会に向けて発信した、辛辣かつユーモアあふれる批評精神と大胆で華麗な芸術表現をお楽しみください。

展覧会の見どころ

——アンソールの歩みをたどるにふさわしい各時期の代表作が出品されます——

アンソールを語るに外すことのできない初期の魅力的な海景画、当時の批評家に「ベルギー絵画史上初めての“明るい(印象主義的)”絵画」と呼ばれた問題作《牡蠣を食べる女》、そして、画家の代名詞である仮面や骸骨を描いた作品として、アンソールの作品集などで表紙を飾ることも多い傑作《陰謀》を含め各時期の代表作をそれぞれ複数点ご覧いただけます。

——傑作《仮面の中の自画像》が特別出品されます——

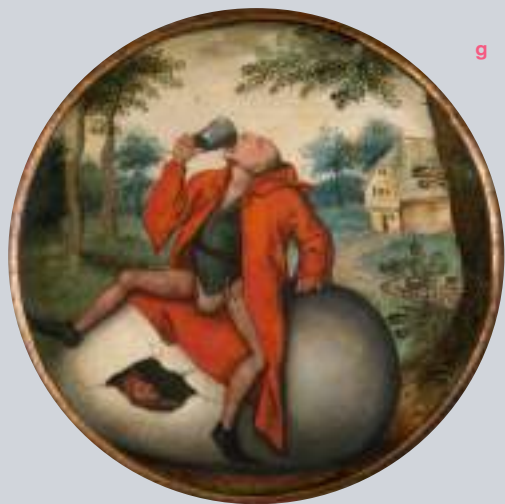
本会場では、1999年のブリュッセルでの過去最大規模での回顧展にてメインヴィジュアルとして使われた《仮面の中の自画像》を特別にメナード美術館(愛知県小牧市)より出品していただきます。上記の《陰謀》とともに、アンソールの仮面を描いた作品のうち、傑作と呼ばれる2点が並びます。

——西洋絵画の詩情と笑いという両極端をいちどにお楽しみいただけます——

美だけが絵画の楽しみではありません。西洋絵画における写実と幻想をたどる本展では、アンソールの作品を軸に、16世紀から20世紀までの幅広い絵画を紹介します。風景画や、中流階級を描いた室内画では、写実の世界に画家たちの詩情を満喫できます。一方で、奇怪な空想のいきものや、当時のことわざを描いた作品では、おもわず吹き出してしまいそうなユーモアとおかしみを楽しんでいただけることでしょう。

——アンソール作曲の音楽や、ブリューゲルの時代のバグパイプも——

カーニバルや室内楽の演奏風景を描いたアンソールは、晩年、自らもピアノ曲を作曲したり、人形劇を制作したりと、絵画制作と並行して、ときにはそれ以上に熱心に音楽活動に取り組みました。本会場では関連イベントとして、アンソールが作曲した曲の演奏会や、ブリューゲルの時代の音楽を本格的バグパイプで演奏するブリューゲル・バンドの演奏会を行います。



ensor

PRESS RELEASE

アンソールってだれ？

ジェームズ・アンソール (James Ensor, 1860–1949) は、ルネ・マグリット、ポール・デルヴォーらとともにベルギー近代絵画を代表する画家として知られています。「仮面の画家」とも称される彼の作品には、仮面や怪物、骸骨といったグロテスクなモチーフや、地元オステンドのカーニヴァルの情景が華麗な色彩で描かれ、人間の心の奥にある偽善や虚飾などの感情がユーモアを交えて表されています。あまりに斬新かつ個性的な彼の画風は、発表当時には世間では受け入れられませんでした。今日では、表現主義やシュルレアリスムを予告する「20世紀美術の先駆者」として高く評価されています。

一方で彼の作品は、伝統的なフランドル絵画や同時代のフランス印象主義などの主要な絵画の動向にも大きな影響を受けていました。アンソールは彼らしい想像力に満ちた画面を生み出すにあたって、ブリューゲルやボスといったフランドル絵画に見られるユーモアのある幻想をこよなく愛したほか、静物画、海景画では印象派の画家たちと同様に、現実の移ろいゆく光の効果に鋭い眼を差し向けました。孤高の「仮面の画家」はまた、同時代の画家と同じ課題を追求する「光と激烈さの画家」でもありました。

広報用画像

以下の画像を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みのうえ、メールにてご連絡ください。

Email bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

使用条件

- ・キャプションは、作家名、作品名、制作年、(場合によっては)所蔵先とクレジットを必ず表記ください。
- ・作品画像のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、お手数ですが校正紙を担当者へお送りください。
- ・読者様・視聴者様へのプレゼント用招待券の手配も可能です。
ご希望の際はお申し付けください。

a | アンソール | 陰謀 | 1890 | アントワープ王立美術館

b | アンソール | 牡蠣を食べる女 | 1882 | アントワープ王立美術館

c | アンソール | 白い雲 | 1884 | アントワープ王立美術館

d | アンソール | 仮面の中の自画像 | 1899 | メナード美術館, 小牧

e | ヤン・ホッサールト (の模作) | エッケ・ホモ (この人を見よ) | 1510/30? | アントワープ王立美術館

f | ルーベンス | ミネルヴァ | 1630 | アントワープ王立美術館

g | ピーテル・ブリューゲル (子) | フランドルの六つの諺 (空の大卵にまたがる大酒飲み) | アントワープ王立美術館
photo credit: Lukas-Art in Flanders vzw/KMSKA

FEBRUARY 2012

PRESS RELEASE

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART

お問合せ || 豊田市美術館 展覧会担当 鈴木俊晴
471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

Tel 0565 34 6610 Fax 0565 31 4983
<http://www.museum.toyota.aichi.jp>
bijutsukan@city.toyota.aichi.jp